



記念館だより

2023年5月

「日本語教室再開します。」

加藤 輝勢子

本所賀川記念館では学童クラブ・児童クラブ以外の活動として教室活動があります。美術教室・ピアノ教室です。美術教室は子どもたちに大変人気で今は空き待ちの状態です。ピアノ教室はカワイ音楽教室が指導してくださっていますが、こちらも人気で曜日を増やす検討をしているようです。

研究活動としては「賀川豊彦研究会」を毎月第3木曜日（通常）の夜7時から1時間程度しております。賀川豊彦の行ってきたことや、本所賀川記念館の前史である本所基督教産業青年会のことなどを学び、現在のニーズや賀川が生きていたらどのようにしたであろうか等、読書会を中心に参加者が自由に話し合いをする研究会です。2023年は関東大震災から100年を迎えて、講演会なども計画しております。

ボランティア活動としては「一人暮らしの高齢者のための配食サービス」をコスモス会で行っています。毎週土曜日にお弁当を手作りし、配達していただいています。ボランティアの皆さんが心を込めて作ったお弁当を配達の方が見守りを兼ねて丁寧に配達してくださっています。元学童クラブの保護者や卒業した大学生も配達を手伝っています。ただ、

今はお弁当を作ってくださっていたボランティアの方が高齢になり、継続が難しくなっています。今後は違う形でどうか食事を提供できないかと思案中です。アイデアを出していただけると幸いです。

もう一つのボランティア活動として「外国人のための日本語教室」があります。コロナ前には毎週土曜日の夕方に3階で行っており、多くの外国の方が、日本語教室に通っていました。ところが、コロナが流行し、休室になっていました。2011年の東日本大震災の時も通っていた方が母国に帰ってしまわれ、参加者が少ない時もありましたが、コロナでは休室の措置を取らざるを得ませんでした。その間、何人かの外国の方からの問い合わせもありましたが、ようやく準備が整い、5月13日から再開します。とはいえ教室といっても一人ひとりの日本語の理解度の違いもあり、参加される方に合わせたものになります。参加される方が言葉を習得して日本での暮らしが快適なものになればと願っています。異国の地で旅行ではなく、暮らしていて言葉がわからないということは大変不便ですし、不安だと思います。その意味でも日本語教室は大切な働きだと思っています。

本所賀川記念館児童クラブ（児童厚生施設） 2023年5月1日（月）発行

〒130-0005 東京都墨田区東駒形 4-6-2 一般財団法人本所賀川記念館 TEL03-3622-7811

学童クラブ

早いもので新年度になってから一か月が経ち、新入会のお友だちも少しずつ学童クラブに慣れてきました。学校から帰ったら連絡帳を出して宿題を始めたり、使いたいものがある時に一言職員に声をかけてから遊んだり、ルールを守って楽しく過ごすことができています。また、上級生が一年生に「お話は良い姿勢で聞くんだよ！」と教える様子や「何して遊びたい？」と話を聞いてから一緒に遊ぶ姿がありました。優しく接してもらうことで安心したのか、一年生の方から「一緒に遊ぼう！」と声をかけて工作や運動遊びに参加しています。同じ記念館学童クラブのお友だちとして良い関係が築けていてとてもうれしく思います。(西村)

記念館トピック

【賀川研究会】

「地域から考える在日朝鮮史と教会史」
『福音と世界』2023年5月号 新教出版社
2023年5月18日(木) 19:00~20:00
本所賀川記念館3F ホール



コスモス会

～柏餅あれこれ～

店頭で柏餅がならぶ季節になりましたね。柏餅について調べてみると、「柏餅は徳川九代将軍家重から十代将軍家治の頃江戸で生まれた。カシワの葉は新芽が育つまでは古い葉が落ちないことから、「子孫繁栄(家系が途切れない)」という縁起をかついだものとされる…つぶあん・こしあん・みそあんがあり、京都では白味噌餡のところもある。カシワの自生が少ない近畿圏以西ではサルトリイバラの葉が用いられることもあり、「しばもち」「ちまき」「かからだご」「おまき」「だんご」「いばらもち」など地方ごとに特色のある名称が用いられている。」とのこと。ちなみに柏の葉は食用には適しません。桜餅(の桜葉の塩漬)とはちがいます。知らない大人がいたら教えてあげてくださいね。(針谷)



美術教室

第2～4週水曜日 15:00～17:00
講師：亀田谷亜礼先生

みんなのびのびとお絵描きや工作を楽しんでいます。描いたり、作ったりすることがもっと好きになる美術教室です。



ピアノ教室

毎週月曜日
講師：土屋 紘枝先生

保育園から小学校高学年のお友だちまで、それぞれ目標を設けてピアノの練習を楽しんでいます♪